



## 7. 研修内容

### ①講 演

「誰もが行きたくなる学校づくり～不登校や非行をうまない生徒指導と学力向上～」

講師 栗原 慎二 広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター 教授

《プロフィール》

1959年青森県生まれ。埼玉大学大学院文化科学研究科及び兵庫教育大学大学院学校教育学研究科を修了。学校教育学博士、文学修士。日本カウンセリング学会認定スーパーバイザー、日本ピア・サポート学会認定ピア・サポート・コーディネーターをつとめる。

埼玉県内の公立高校3校で教員として18年間、生徒指導・教育相談に携わり、2003年より広島大学大学院に勤務。生徒指導、教育相談が専門。現在は、子どもたちの持つ力を生かす学校カウンセリングの開発を目指して、ピア・サポート、ブリーフカウンセリング、協同学習、不登校の子どもたち・保護者への支援等をテーマに研究を行っている。

### ②実践報告

数名の先生方より生徒指導に関して日頃より実践されている活動報告をいただきます。

### ③分科会

4つのグループに分かれ、“教育現場での諸問題”について協議していただきます。

※教育現場での諸問題

保護者・家庭との対応、生徒との対応、教師間の連携、学級経営、IT・携帯電話関連（SNS、ネット掲示板の問題等）、保健室・スクールカウンセラーとの連携、登下校中のマナー、不登校、自傷行為、非行、いじめ、発達支援 等

### ④実践講座

対話を用いながら、現場で生徒や保護者にどう対処していったらいいのかを、具体的な事例に基づき体験的に学んでいきたいと思えます。

### ⑤情報交換会

参加者同士の情報交換の場として貴重な場です。また、生徒指導に関するDVDビデオを上映いたします。参加は任意ですが、積極的なご参加をお待ちしております。

### ⑥全体会

分科会での協議内容について、全体でシェアリングを図る場となっております。

## 8. その他

①学校において生徒指導上で取り組んでいらっしゃる（登下校時のマナー、携帯電話、発達障害、生徒会への対応など）を、申込書記入欄にご記入下さい。お寄せいただきました情報は、分科会など運営上の参考にさせていただきます。

②6月28日（金）までに、生徒指導上の規則（生徒や保護者に配布している校則や生徒心得などのうち、規則の細目が記載されているもの）1部を東京私学教育研究所・夏期生徒指導研究会宛てにお送りください。文書中に学校名の記載がある場合は消していただいて構いません。お送りいただきました資料は、当研究所で印刷し、当日会場で配付いたします。尚、研修会当日のお持ち込みはご遠慮ください。

③客室は、全室禁煙で2名1室となります。喫煙される場合は、エレベーターホール等に喫煙コーナーがございますのでご利用ください。  
尚、参加者同士の交流の為、分科会や部屋割りは、同じ学校の方が重ならないようにさせていただきます。

④会場は冷房が強い場合がありますので、必要な方は上着等をご用意ください。

## 9. 委 員（順不同）

委員長 金 野 眞 行（帝京八王子）	坂 田 健 二（文化学園大学杉並）
川 本 ゆり子（啓明学園）	小 熊 北 美（立正大学付属立正）
坂 本 太 郎（京 北）	佐 藤 誠 博（國學院大學久我山）
厚 海 啓 子（日本橋女学館）	